

# 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2019/09/14~2019/09/30)

## 1. 勉学の状況

私は現在、歴史学の授業を3つ履修しています。どの授業もディスカッションの時間が必ずあり、自分の意見を主張することを求められるので毎日ひやひやしています。また、日本に比べて宿題が多いです。内容としては論文や関連書籍を読み、授業によっては事前に提示される質問の答えを考えてくるというものです。多くの場合宿題で出された書籍の内容をもとにディスカッションをするので、精読する必要があり時間がかかります。ただ、日本と違っていい点はMoodle上にテキストが全てアップロードされているので教科書を買って持ち歩く必要がありません。荷物が軽くて済みます。

## 2. 生活の状況

私は現在大学の寮に住んでいます。1つのハウスに5人が住んでおり、一人一人に個室が与えられていますが、シャワー、トイレ、キッチンが共用です。大学から歩いて20分かかるといのが難点ですが、それ以外は大体満足しています。ほかのルームメイトは日本、オランダからの留学生と現地の一年生2人でした(1人は最近引っ越してしまっただようです)。授業の関係で会うことは少ないですが、夕飯の時間などが重なったときは一緒に食べています。

食事は基本的に自炊です。基本的に外食はサンドイッチなども含め割高なので、大学で食べるときもお弁当などを用意します。調達先のスーパーマーケットは何軒かありますが、いずれも寮と大学の中間地点にあるのでよく学校帰りに寄っています。日本に比べると野菜や乳製品は安いので比較的バランスの良い食事をとれているかなと思います。ただ肉、特に魚は日本に比べると種類も少なく割高なのでいまだに手が出せていません。ちなみに調理器具ですが、大学のフリーマーケットで、昨年の留学生が置いていったものを無料でゲットできます。私はそこで鍋やお玉、食器などを手に入れました。調理器具のほかにもドライヤーや毛布、服などがあり大変ありがたいです。ただ、刃物類は中々ないので、日本でセラミック包丁などを買っておくといいかなと思います。

気候ですが、知ってはいましたがやはり寒いです。特に今の時期は寒暖差が激しすぎて体調を崩す人が続出しています。昼は上着なしくらいが快適ですが、夜は一気に冷え込みマフラーがないと耐えられないほどです。また雨も多く降るため折り畳み傘が必須です。ちなみに現地の人はほとんど傘を差しません。

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2020/01/01 ～2020/01/31 )

### 1. 勉学の状況

1月はクリスマス休みであると同時に、最終課題の提出期限が設けられている時期でもありました。私が受講していた授業はほとんどレポートで成績が決められるため、この時期は(旅行にも行っていましたが)常に課題に追われていました。1年生向けの授業を多く受講していたこともあり、レポートの問い自体は難解ではなかったのですが、それを英語で書こうと思う以上にかかる時間がかりました。私は期限ギリギリまで課題に取り組まなかったため、最後の方はほぼ1日中パソコンに向かわなければならず辛かったです。

また、私の場合は珍しく(?)筆記試験を課される授業を選択していたため、それへの対策にも多少の時間を要しました。ただ、歴史学だったこともあり、英語文献を読みあさるというよりは、日本から持ち込んだ歴史の参考書を読み返すという方法で対策をしていました。後から考えると、答えがわかっても英語で答えることができなければ意味がなかったので、英語文献を使って勉強した方がよかったなと思います。解答用紙を見て驚いたのですが、1問あたりA4用紙1枚分の答えを記入する必要がありました。私は埋めることができなかったため、筆記試験の結果は相当悪かったと思います(評価でも分量が少なすぎるとの指摘を受けました)。

### 2. 生活の状況

長期休みだったのでいろいろな国に旅行しました。

クリスマスから年始にかけては日本から遊びに来てくれた友人たちとドイツ→チェコ→オーストリア→ロンドンに行きました。やはりヨーロッパはクリスマスを盛大に祝うので、どの国も活気があって楽しかったです。

また、試験が終わった直後に友人と東欧に行きました。イギリスもなかなか寒いですが、東欧は比にならないくらい寒かったです。そちらの方面への旅行を考えている方は、冬は避けた方がいいかと思います。治安は(ルーマニアを除いて)思ったよりよかったです。が、観光地ではないので英語が通じないこともままありますし、移動手段を探すのに非常に苦労しました。

イギリスでは、クリスマス休みに多くの生徒が実家に帰ってしまうため、この時期は日本人留学生と多くの時を過ごしました。雪が降ることはほとんどなかったのですが、やはり日が短いこともあり非常に寒かったです。特に雨が降ると一気に体感温度が下がります。一方で、暖房設備は(おそらく)どこもしっかりしているので、寮にいる分には特に不便を感じたことはありませんでした。

## 海外派遣留学プログラム報告書

(報告期間：2020年3月～2020年5月)

コロナウイルスの影響で急遽帰国することとなりました。また、本来であれば最終月は5月となるかと思いますが、コロナウイルスの影響で3月末の帰国となったため、3月から5月の出来事について報告いたします。

### 1. 勉学の状況

帰国まで（～3月末）

コロナウイルスの影響から数週間イースター休みが前倒しとなり、3月はほとんど授業がありませんでした。ただ、レポート課題があったので、帰国日までは資料収集をしていました。

帰国後（3月末～）

本来であれば3月末がレポートの提出期限だったのですが、帰国準備で忙しかったため、提出期限の延長申請をしていました。そのため、帰国後はしばらくレポート課題に追われていました。しばらくして、オンライン授業も始まりました。リアルタイムで授業が行われたのは2つのみでそれ以外はオンデマンド形式でした。日本とイギリスでは時差があるためありがたかったです。ただ、千葉大学の授業も同時並行で受講していたため、若干留学先の授業が疎かになってしまい、先生方に申し訳なく思っています。

### 2. 生活の状況

帰国まで

千葉大学側から指示があるまでは残るつもりでいましたが、ほかの大学から来た友人たちは帰国準備を始めていました。今考えると帰国は時間の問題だったので、もっと早くから準備をすべきだったと思っています。また、ヨーク市内でも店や施設も徐々にしまり、閑散としていました。現地の学生も次々と故郷に帰っていました。帰国が決まった後も、ロンドンまでの電車が運休になったり、飛行機が欠航となったりと様々な周りのトラブルを耳にし、帰国できるのか不安が募りました。私の場合は無事にトラブルなく帰国できましたが、人っ子一人いないロンドンを見たときの衝撃は忘れないと思います。

帰国後

帰国後2週間は自宅に待機していました。また、就職活動もこの時期からはじめました。面接もオンラインになったため、そのような意味では今年の就職活動は例年より負担が少なかったのではないのでしょうか。私は主にロンドンキャリアフォーラムへの出展企業を中心に選考を受けましたが、それまで就職活動対策を何もやってこなかったので相当苦戦しました。結局希望の企業から内定をいただくことが出来ましたが、もっと早く対策をするべきだったと思っています。